

## 2023年4月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月30日

上場会社名 東和フードサービス株式会社  
コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 岸野 誠人  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 研二  
定時株主総会開催予定日 2023年7月28日 配当支払開始予定日 2023年7月3日  
有価証券報告書提出予定日 2023年7月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5843-7666

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年4月期の業績(2022年5月1日～2023年4月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期	10,846	31.5	614		656	46.7	425	39.1
2022年4月期	8,246	17.3	751		1,232		698	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年4月期	52.76		7.1	7.8	5.7
2022年4月期	86.62		12.3	14.5	9.1

(参考) 持分法投資損益 2023年4月期 百万円 2022年4月期 百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年4月期	8,443	6,016	71.3	745.52
2022年4月期	8,519	5,675	66.6	703.32

(参考) 自己資本 2023年4月期 6,016百万円 2022年4月期 5,675百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年4月期	645	832	91	1,621
2022年4月期	1,863	1,474	65	1,899

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年4月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年4月期		4.50		6.00	10.50	84	12.1	1.5
2024年4月期(予想)		5.00		6.00	11.00	88	20.8	1.5

(注) 2024年4月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後配当予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 3. 2024年4月期の業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	7.8	280	59.8	300	54.1	200	74.8	24.78
通期	11,500	6.0	750	22.0	800	21.8	450	5.7	55.76

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期	8,186,400 株	2022年4月期	8,186,400 株
期末自己株式数	2023年4月期	116,798 株	2022年4月期	116,798 株
期中平均株式数	2023年4月期	8,069,602 株	2022年4月期	8,069,602 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ(4)「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

#### 当事業年度の経営成績

2023年4月期の業績は、売上高108億46百万円（前年同期比131.5%）、営業利益は6億14百万円（前期は営業損失7億51百万円）、経常利益は6億56百万円（前年同期比53.3%）となり、当期純利益は4億25百万円（前年同期比60.9%）となりました。

24期は年初来の新型コロナウイルス感染拡大、世界的インフレによる物価の上昇や労働力不足に起因する人件費の高騰などの影響を受けたものの、感染対策の徹底や国外からの入国規制緩和などで経済活動を正常化する動きの中で、当社は業務効率化と営業施策の推進に努めた結果、すべての月で売上高、客数、客単価ともに前年を上回ることができました。

中期経営計画のもとに新規事業としてスタートさせた食物販事業におきましては、催事運営チームを発足し、催事出店の決定から運営オペレーション、人材確保、検証までの仕組みを確立した上で、67ヶ所574日間の催事出店を展開いたしました。開催日数は前年と比べ21ヶ所176日増（前年比144.2%）となりました。

また、椿屋オンラインショップと実店舗の両方ご利用金額に応じてポイントを貯めて利用できる「椿屋珈琲グループアプリ」の開発に着手し、2023年4月に稼働をスタートさせました。このアプリでは、各業態のフェアメニューのご紹介や椿屋オンラインショップでのお得な情報や近隣店の検索などに加え、アプリ会員限定の特別クーポンの配布なども行っており、利便性を高めるツールとしてご活用いただいております。

新規創店につきましては「ケーキ・焙煎珈琲 椿屋珈琲」を東急ストアアトレ大森店、五反田東急スクエア店と物販専門店を2店舗出店いたしました。五反田東急スクエア店におきましては、シュークリーム生地の焼成設備を導入して新たに販売した「焼きたてシュークリーム」が大変好評であり、物販事業拡充のための新たな柱として育成を進めてまいります。

営業施策面では店舗での生産性向上を図るため、自動釣銭機能付きのレジ導入と入店待ちのお客様に対応するための自動順番受付機の導入やインバウンド需要に対応するためのメニューの多言語対応が概ね完了しております。現在はキッチン業務の効率化に向けたキッチンディスプレイ導入やデジタルメニューによるセルフオーダーシステムなどの試験導入もを行い、生産年齢人口の減少に伴う人手不足に対する生産性向上策を引き続き進めてまいります。

部門別の概況につきましては、以下のとおりです。

#### 『椿屋珈琲グループ』（期末店舗数52店舗 2店舗増加）

椿屋珈琲グループの売上高は45億50百万円（前期比133.1%）となりました。

主に都心部でのビジネスマンとインバウンド需要取り込みにより、大幅に回復しております。「ゆとりとくつろぎの60分」をコンセプトとして、ブランド力をさらに高められるようサービスの向上に努めました。

昨年4月に増床リニューアルを実施した「椿屋珈琲新宿茶寮」、抹茶をテーマとし新たなモデルで改装オープンした「茶寮SIKI TSUBAKIYA コレットマーレ店」がオープンから1年が経過し収益モデルも確立出来ました。

#### 『ダッキーダックグループ』（期末店舗数20店舗 増減なし）

ダッキーダックグループの売上高は21億61百万円（前期比117.5%）となりました。

CheeseEggGarden調布店および松戸店において、店内にケーキ製造設備を設置、改装を行いました。ケーキの製造設備を併設する店舗は計10店舗となり、作り立て・スタジオ限定という付加価値の提供を行うと同時に、物販専門店への出荷も可能とする体制構築を進めております。

定番のストロベリーショートケーキをはじめとするケーキ、ズコット、ゼリー等、旬のフルーツを使用したスイーツ開発に力を入れ、テイクアウト販売も伸ばしております。

## 『イタリアンダイニングドナグループ』（期末店舗数22店舗 増減なし）

イタリアンダイニングドナグループの売上高は18億31百万円（前期比131.7%）となりました。

自社製にこだわった生麺、パスタソース、ドレッシングを使用し、前菜にピッツァ、ディナータイムではお酒と共に一品料理をお楽しみいただけます。セントラルキッチンで調理された本格的なグラタンやシチューなど、内製化比率が高い事も特徴です。

## 『こてがえし・ばすたかんグループ』（期末店舗数13店舗 増減なし）

こてがえし・ばすたかんグループの売上高は12億6百万円（前期比150.7%）となりました。

2022年11月より「築地もんじゃ」を看板商品として打ち出し、店舗で仕込んだ自家製明太子もんじゃをメニューの中心に据え、店舗外装におきましてももんじゃ焼きを前面に打ち出した外観へ変更したことにより、新たな客層の掘り起しとリピーターの獲得によって業績が大幅に回復しております。人で行うべき調理・サービスが多いこともあり、DX化による生産性向上にも積極的に取り組んでおります。

## 『プロント』（期末店舗数5店舗 増減なし）

プロントの売上高は5億39百万円（前期比138.1%）となりました。

弊社がフランチャイジーとして運営するプロントでは、朝から昼はカフェとしてコーヒー・トースト・マフィンやランチパスタを、夜は一人からグループ客までお酒の需要回復にあわせて、「キッサカバ」として気軽にお酒を楽しめるシーンを提供しております。

## 【生産部門／EC事業／物販催事事業】

生産部門の売上高は2億73百万円（前期比127.3%）となりました。

外食需要の回復により、カミサリーで製造するパスタソース・ドレッシングの外部販売が生産部門全体を押し上げております。

EC事業の売上高は1億73百万円（前期比134.6%）となりました。

自社サイト「椿屋オンラインショップ」ではアプリポイントとの連携を2023年4月よりスタートしております。今後も新商品の御案内やお得な商品の御案内を行ってまいります。

物販催事事業の売上高は深川工場直販もあわせて1億10百万円（前期比177.3%）となりました。

## 【サステナビリティの取組み】SDGs ゴール3.12.14

現在、鳥インフルエンザの流行により多くの鶏の殺処分が行われ、卵の入荷に関して不安定な状況が続いております。鳥インフルエンザに関しては毎年同様のリスクを伴うこともありますが、飼育環境に配慮され飼育密度の低い平飼い鶏が産卵した卵の入荷を試験的に開始いたしました。今後安定的な仕入れを目標としております。

食品リサイクルの分野において取り組んでいる生麺端材の有効活用について、今期の総量は7.1トンとなりました。企業努力により昨年よりも15%削減が出来ましたが、処分が必要な部分につきましては、引き続き「横濱ビーフ」（株式会社小野ファーム様）の飼料として提供しており、あわせて廃棄物処理で発生するCO2削減とコスト削減にもつながっております。この取り組みは日本SDGs協会からの事業認定を受けております。

その他、売上の一部を小児がん治療のために寄付する社会貢献活動、環境に配慮した副資材の使用も全店で徹底しております。今後もSDGsの取組みを推進してまいります。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産の状況

当事業年度における総資産は84億43百万円となり、前事業年度末比75百万円減少しました。

負債は24億27百万円となり、前事業年度末比4億16百万円減少しました。これは、主に未払法人税が4億67百万円、未払金が1億56百万円減少したことによるものです。

純資産は60億16百万円となり、前事業年度末比3億40百万円増加しました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、16億21百万円で前事業年度末に比較して、2億78百万円減少しました。

当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果、得られた資金は6億45百万円で、前事業年度と比較して12億17百万円減少しました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果、使用した資金は8億32百万円で、前事業年度と比較して6億41百万円減少しました。これは主に定期預金の払戻による収入が13億円増加したことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果、使用した資金は91百万円で、前事業年度と比較して25百万円増加しました。これは主に配当金等の支払額が28百万円増加したことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年4月期	2020年4月期	2021年4月期	2022年4月期	2023年4月期
自己資本比率	72.6	76.1	70.8	66.6	71.3
時価ベースの自己資本比率	176.7	144.1	157.3	139.8	147.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	1.2	△8.7	0.3	0.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	307.0	351.0	△23.3	469.7	512.5

・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しています。

(注3) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の経済動向につきましては、地政学リスクに起因する物価上昇と消費マインド低下、労働力不足などのマイナスの影響は、一層厳しいものと想定されます。

このような状況の中、経営理念・営業コンセプトに則ってお客様の体験価値向上に寄与しながら、DX化による生産性向上策の推進、経費支出の削減と業績回復への施策も継続して行ってまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当事業年度 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,699,254	3,821,193
売掛金	173,393	196,370
SC預け金	263,879	310,043
商品及び製品	39,970	38,639
原材料及び貯蔵品	123,307	133,788
前払費用	114,224	126,210
その他	245,880	74,758
貸倒引当金	△409	△586
流動資産合計	4,659,501	4,700,417
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	732,154	626,204
機械及び装置（純額）	117,833	90,458
工具、器具及び備品（純額）	182,059	208,326
土地	530,000	530,000
リース資産（純額）	3,876	4,818
建設仮勘定	4,737	2,901
有形固定資産合計	1,570,659	1,462,709
無形固定資産		
無形固定資産	19,183	53,462
投資その他の資産		
投資有価証券	34,819	40,568
出資金	320	320
長期前払費用	22,837	16,029
繰延税金資産	368,484	307,628
差入保証金	417,402	417,402
敷金	1,425,865	1,443,902
その他	—	1,075
貸倒引当金	—	△2
投資その他の資産合計	2,269,730	2,226,922
固定資産合計	3,859,573	3,743,095
資産合計	8,519,074	8,443,513



（単位：千円）

	前事業年度 (2022年4月30日)	当事業年度 (2023年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,467	236,668
1年内返済予定の長期借入金	—	600,000
リース債務	2,230	1,986
未払金	598,187	441,227
未払賞与	91,154	97,237
未払費用	88,100	94,091
未払法人税等	467,042	—
未払消費税等	72,008	226,779
預り金	23,179	27,345
資産除去債務	49,527	—
前受収益	4,842	4,083
契約負債	—	94
ポイント引当金	—	544
その他	—	245
流動負債合計	1,617,742	1,730,305
固定負債		
長期借入金	600,000	—
リース債務	2,264	3,476
退職給付引当金	356,218	376,833
資産除去債務	246,315	295,842
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,225,783	697,136
負債合計	2,843,525	2,427,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,306,350
利益剰余金	4,411,327	4,748,347
自己株式	△100,642	△100,642
株主資本合計	5,667,034	6,004,054
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,514	12,017
評価・換算差額等合計	8,514	12,017
純資産合計	5,675,549	6,016,071
負債純資産合計	8,519,074	8,443,513

## （2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
売上高	8,246,771	10,846,585
売上原価		
商品及び原材料期首棚卸高	44,534	67,328
製品期首棚卸高	32,852	39,572
当期商品仕入高	1,356,791	1,676,407
当期製品製造原価	1,089,285	1,268,042
ロイヤリティー	11,859	16,934
合計	2,535,324	3,068,284
商品及び原材料期末棚卸高	67,328	53,462
製品期末棚卸高	39,572	33,122
売上原価合計	2,428,423	2,981,699
売上総利益	5,818,347	7,864,886
販売費及び一般管理費	6,569,559	7,250,316
営業利益又は営業損失（△）	△751,212	614,569
営業外収益		
受取利息	53	213
受取配当金	518	558
受取家賃	26,716	31,501
協賛金収入	2,938	3,969
助成金等収入	1,949,952	5,829
その他	8,328	4,551
営業外収益合計	1,988,508	46,624
営業外費用		
支払利息	1,267	1,259
不動産賃貸原価	1,795	1,647
その他	1,869	1,441
営業外費用合計	4,931	4,348
経常利益	1,232,364	656,846
特別利益		
投資有価証券売却益	—	112
受取補償金	100,148	—
特別利益合計	100,148	112
特別損失		
固定資産除却損	2,745	118
店舗閉鎖損失	1,982	—
減損損失	249,289	2,759
特別損失合計	254,017	2,877
税引前当期純利益	1,078,495	654,080
法人税、住民税及び事業税	467,124	169,292
法人税等調整額	△87,581	59,003
法人税等合計	379,543	228,295
当期純利益	698,952	425,784

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	50,000	683,009	623,341	1,306,350	3,680,000	92,897	3,772,897
当期変動額							
剰余金の配当						△24,208	△24,208
剰余金の配当(中間配当)						△36,313	△36,313
当期純利益						698,952	698,952
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	638,430	638,430
当期末残高	50,000	683,009	623,341	1,306,350	3,680,000	731,327	4,411,327

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△100,642	5,028,604	8,102	8,102	5,036,706
当期変動額					
剰余金の配当		△24,208			△24,208
剰余金の配当(中間配当)		△36,313			△36,313
当期純利益		698,952			698,952
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			412	412	412
当期変動額合計	—	638,430	412	412	638,842
当期末残高	△100,642	5,667,034	8,514	8,514	5,675,549

当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	50,000	683,009	623,341	1,306,350	3,680,000	731,327	4,411,327
当期変動額							
別途積立金の積立					200,000	△200,000	—
剰余金の配当						△48,417	△48,417
剰余金の配当(中間配当)						△40,348	△40,348
当期純利益						425,784	425,784
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	200,000	137,019	337,019
当期末残高	50,000	683,009	623,341	1,306,350	3,880,000	868,347	4,748,347

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△100,642	5,667,034	8,514	8,514	5,675,549
当期変動額					
別途積立金の積立		—			—
剰余金の配当		△48,417			△48,417
剰余金の配当(中間配当)		△40,348			△40,348
当期純利益		425,784			425,784
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			3,502	3,502	3,502
当期変動額合計	—	337,019	3,502	3,502	340,521
当期末残高	△100,642	6,004,054	12,017	12,017	6,016,071

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,078,495	654,080
減価償却費	452,692	335,837
減損損失	249,289	2,759
受取補償金	△100,148	—
店舗閉鎖損失	1,982	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△112
助成金等収入	△1,949,952	△5,829
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,086	20,614
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	82	180
受取利息及び受取配当金	△572	△772
支払利息	1,267	1,259
固定資産除却損	2,745	118
売上債権の増減額 (△は増加)	△178,522	△69,140
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△29,371	△9,149
前払費用の増減額 (△は増加)	△13	△11,986
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,889	△4,529
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△15,321	6,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,754	15,201
未払金の増減額 (△は減少)	129,217	△4,389
未払賞与の増減額 (△は減少)	6,357	6,082
未払費用の増減額 (△は減少)	22,011	5,990
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△158,214	154,771
預り金の増減額 (△は減少)	13,627	4,165
前受収益の増減額 (△は減少)	—	△758
その他	△24,045	884
小計	△443,662	1,101,363
利息及び配当金の受取額	533	723
利息の支払額	△1,267	△1,259
補償金の受取額	100,148	—
法人税等の支払額	△28,086	△700,592
助成金の受取額	2,235,961	245,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,863,627	645,727
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	500,000	1,800,000
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△2,200,000
投資有価証券の売却による収入	—	174
有形固定資産の取得による支出	△102,520	△374,489
無形固定資産の取得による支出	△2,370	△38,985
固定資産の除却による支出	△1,417	△118
差入保証金の差入による支出	△73,828	—
差入保証金の回収による収入	22,189	—
敷金の差入による支出	△11,490	△18,273
敷金の回収による収入	67,931	1,372
資産除去債務の履行による支出	△70,118	—
その他	△2,405	△2,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,474,028	△832,689

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,855	△2,333
配当金の支払額	△60,521	△88,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,377	△91,098
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	324,220	△278,061
現金及び現金同等物の期首残高	1,575,033	1,899,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,899,254	1,621,193

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)		当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)	
1株当たり純資産額	703円32銭	1株当たり純資産額	745円52銭
1株当たり当期純利益	86円62銭	1株当たり当期純利益	52円76銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年5月1日 至 2022年4月30日)	当事業年度 (自 2022年5月1日 至 2023年4月30日)
1株当たり当期純利益	86円62銭	52円76銭
当期純利益(千円)	698,952	425,784
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	698,952	425,784
普通株式の期中平均株式数(株)	8,069,602	8,069,602

(重要な後発事象)

該当事項はありません。